

# ふるさと岡崎 菅江真澄 再発見



秋田県立博物館蔵 菅江真澄肖像画

## 6月2日(土)

13:00~16:30 〈開場12:40〉

会場:岡崎市図書館交流プラザ  
りぶらホール

定員:180名(先着・参加無料)

### 講演会 講師／シンポジウム パネリスト

秋田県立博物館  
主任学芸主事  
松山修氏



講演①講師/  
パネリスト

東京学芸大学  
人文社会科学系教授  
石井正己氏



講演②講師/  
シンポジウム司会

愛知大学  
地域政策学部教授  
印南敏秀氏



パネリスト

岡崎市美術博物館  
堀江登志実氏



パネリスト

申し込み方法  
4月9日(月)より開始

図書館ホームページのリンク先(あいち電子申請・届出システム)のフォームからお申し込みいただくか、電話またはちらし裏面の申込票を中央図書館のカウンターまでお持ちください。



申込み用QRコード  
(あいち電子申請・届出システム)

### プログラム

- ・菅江真澄紹介(映像)
- ・講演①「丹羽嘉言と菅江真澄」
- ・講演②「菅江真澄の図絵の魅力と課題」
- ・シンポジウム「ふるさと岡崎 菅江真澄再発見」

【問い合わせ先】岡崎市立中央図書館(岡崎市康生通西4-71)  
電話:0564-23-3111 FAX:0564-23-3165



# 「三河の国乙見の里人菅江の真澄」

『花の出羽路』序文より

江戸時代後期の紀行家・国学者である菅江真澄は、30歳で故郷である三河を出発し、陸奥・蝦夷地を中心に47年間を旅に暮らしました。旅のすから庶民の生活、風習などを日記・随筆・図絵類で詳細に書き残し、民俗学の父である柳田國男は「民俗学の先覚」「遊歴文人」と称しています。

しかし、今もなお菅江真澄の確かな故郷・出自・学問の系統などは、はっきりとわかっていません。本シンポジウムでは、真澄の謎や魅力をひもときながら、岡崎の歴史や民俗について考えます。

## 会場案内

図書館交流プラザ りぶらホール  
(住所：岡崎市康生通西4丁目71番地)

- アクセス／
- 公共交通機関を利用される場合  
名鉄東岡崎駅から、名鉄バス「岡崎拠点快速バス(岡崎駅・市民病院線)」又は「日名町行き(魚町・康生町経由)」で『図書館交流プラザ』バス停下車すぐ。
  - 自家用車の場合  
東名高速道路岡崎ICより国道1号線を西へ車で約10分。



※駐車場は2時間まで無料(それ以降30分毎に100円)

## 申込票

申込欄	6月2日開催 菅江真澄シンポジウム「ふるさと岡崎・菅江真澄再発見」に参加します。		
	(ふりがな)	電話番号	— —
	氏名	携帯電話	— —